



10月1日、市と大塚製薬が5月に締結した「市民の健康増進に関する包括連携協定」の一環として、市民体育館サブアリーナ内に緊急時解放備蓄型自販機を1台設置しました。1台に最大で飲料約500本とカロリーメイトなどの食品約70食を備蓄することができ、災害時には在庫物資を無償で利用できます。

中村市長は「災害対応型の自販機を普段から目にしてもらうことで、防災意識の向上にもつながれば」と期待を寄せました。

緊急時解放備蓄型自販機を設置しました



9月27日、市長室に鳥羽・ジュニアレスリングクラブの中濱善助さんが訪れ、7月に東京で開催された全国少年少女レスリング選手権大会の小学3年・22kg級で3位入賞したことを中村市長に報告しました。

中濱さんは「初めての全国大会でここまで勝ててうれしい」と笑顔で話してくれました。中村市長は「全国大会で入賞という結果を残し、誇らしく思います。今後の活躍にも期待しています」と話しました。

全国少年少女レスリング3位入賞！



10月1日、市民体育館サブアリーナで鳥羽市老人クラブ連合会の創立60周年記念大会が開催されました。大会の午前中には老人クラブ活動と事業運営に貢献されたかた6人に中村市長から感謝状と記念品が贈られ、12人に会長の小林さんから表彰状と記念品が贈られました。

午後の部では、特殊詐欺被害防止をテーマとした寸劇や、鳥羽市出身の演歌歌手、長山みえさんによる歌謡ショーのほか、会員のみなさんによる歌や踊りなどの芸能発表が行われ、記念大会をいどりました。

市老連60周年記念大会



10月18日、市内の林縁部にてキジの放鳥が行われました。

この活動は三重県猟友会が行っている日本在来種の保護活動の一環で、毎年県内でキジの放鳥を行っているほか、野生鳥類が好む、実のなる木を県下の小学校・幼稚園などに贈呈し猟友会員が植栽をしています。

当日は、市職員立ち会いのもと三重県猟友会鳥羽支部の会員がメス9羽オス8羽の合計17羽を放鳥し、放たれたキジは元気に飛び立ちました。

日本在来種保護でキジ放鳥